

第3回大竹市地域公共交通活性化協議会

記 録 票

日時：平成21年9月14日(月)

午後 3時～

場所：大竹市役所 3階大会議室

出席者等：別紙「名簿」のとおり

1 開 会

2 あいさつ (会長：小田)

朝晩、凌ぎやすくなり実証運行の開始が近付いてきた。本日の議論を経て、10月中には運行を実施したいと考えている。また、三ツ石地区乗合タクシー業務においては失礼ながら書面審議とさせていただいたが、承認をいただきありがとうございます。

10月5日からの三ツ石の支線交通、そして幹線交通の運行開始を控えて、本協議会において実施する事業の記念すべき第一歩を踏み出すことになるが、皆さまのご尽力ならびに利用していただく市民のご協力をいただきながら着実に歩みを進めていきたいと思うので、引き続き協力をお願いします。

3 議 題

(1) 幹線交通実施計画 (案) について

【事務局 (香川)】 実施計画 (案) は第2回 (8月7日) 協議会で説明したところであるが、検討課題もあり一部変更しているため改めて説明する。

(資料1：実施計画案に基づき、計画内容を説明。変更箇所は資料1-2に記載)

また、黒川会館 (玖波駅行) のバス停について、現時点の候補地との協議が整っていない。民有地であり候補地に設置できない場合、次の2案が考えられる。

①計画ルートのまま運行し、バス停設置を当面、保留する。

②ルートを2号線へ変更する。ただし、小方公民館の設置不能。(資料1-3参照)

候補地へ設置すべく調整するが、不調の場合の優先順位を分科会で論議している。

【1:現候補地 2:2号線ルート。※小方地区の了承が条件 3:設置保留】

= 質疑・審議結果 =

○運行開始日について

小田会長：10月26日の運行開始に間に合うのか？

事務局：停留所の問題が残っているが、間に合うように結論を出して、申請等の準備を進めていく予定である。 ⇒

承認

○油見3丁目バス停の廃止について ⇒ 承認

○回数券の販売場所について ⇒ 承認

○乗継券（割引）について

事務局：運用方法を変更する。最初に2枚交付すると乗車確認ができないため、乗車ごとに1枚交付する。（運輸支局の指導による。）

賀屋委員：対象外となる坂上線の利用者が納得されているのかが問題である。

事務局：坂上線は元々の料金設定が安い。岩国市の合意が必要であることと、100円区間が無料になるため、当面は導入を見合わせたい。今後、岩国市と協議する。

長谷川委員：幹線バスの停車位置（大竹駅）はどこになるのか。

事務局：駅の正面（坂上線と同じ位置）である。 ⇒ 承認

○運行ダイヤ・運行時間について

中島委員：運行時間が32分で運行間隔40分だと8分しか余裕がない。60分間隔のときも28分しか休憩時間がなく、1人運行では労働時間が13時間を超え、労働基準法に抵触する可能性もあるように聞いたがどうか。（10分未満の端数は休憩時間の累積対象でないため。）

事務局：30分間隔での運行を考えていたが、実測で32分要したため、致し方なく40分間隔となった。利用者の利便性を考えると、40分間隔で運行したい。

富田委員：労働基準法では4時間の運転時間に対し30分の休憩が必要。10分の休息であれば3回取れば条件をクリアできる。運転手の交代でも対応できる。

賀屋委員：ダイヤを見ると、若干余裕があると思われるので、一部を圧縮して30分運行の40分間隔で再編成してはどうか。

⇒ 運行時間を30分とする。（西医療S、ゆめタウンで調整）

富田委員：運行時間の短縮は構わないが、常態的な運行遅れにならないように。

○利用促進策（マイ時刻表作成の削除・ポスター作製） ⇒ 承認

○黒川会館バス停位置のルート設定について（※ 候補地に設置できない場合）

中村委員：人が住んでいるところを通らないと意識が醸成されない。旧道が良い。

照永委員：旧道は幅員が狭い。バス停留所もあり安全面・時間面から2号線が良い。

長谷川委員：該当箇所であれば2号線の渋滞はあまり見られない。

越水委員：旧道はスクールゾーンとなっており、危険ではないか。

山口委員：スクールゾーンのバス運行についての規制はないが、危険性はある。

⇒ 分科会で決定した優先順位に従う。

○ゆめタウンの停留所位置について

小田会長：ゆめタウンからの進出経路が右折となっているが交差点までの距離が短く、交通量が多い場合など運行が難しいのではないか。

中島委員：ゆめタウンバスの運行状況でいえば、右折で出るのは難しい。また、正面玄関前では、ゆめタウンバスやタクシーが停車しており進入が困難と思われる。

賀屋委員：2号線側の駐車場内に設置してはどうか。また、左折ルートは増床時に必ず運行できなくなるため、実証運行としてふさわしくない。

越水委員：沖側の駐車場というのはどうか。正面は狭く危険である。

事務局：2号線側駐車場は時間短縮が図れる一方、屋根もなく雨天時などは不便である。所有者の意向を確認し決定したい。また、出方について、距離は長くなる（約400m）が、左折の方が安全でありスムーズな運行ができる。

（協議会后、ゆめタウンの意向を確認。バス停として定着している正面が良い。）

⇒ バス停位置は正面玄関前とし、左折で出ていく。

※ ゆめタウンの増床時（22年春：着工予定）には再度、ルート・バス停位置を検討する。

(2) 大竹・栗谷線の路線変更及び運賃改定について（資料2-1, 2-2参照。）

【事務局（香川）】

路線：玖波駅～大竹駅間が重複するため、西医療センターまでの運行とする。

運賃：栗谷～玖波駅以降は780円となっている。乗り換えて大竹駅方面へ行く利用者の負担増とならない様に、100円の乗継割引と併せて運賃改定を行う。（栗谷線の運賃を200円改定すると、大幅な収入減が危惧される。）

⇒ 承認

(3) 大竹市地域公共交通総合連携計画事業推進業務の実施について（資料3参照。）

【事務局（香川）】

総合連携計画の事業実施について、専門知識・ノウハウを活用するためコンサルへ業務発注する。受託者は計画を策定した「(株)地域未来研究所」とする。（随意契約については第2回協議会において承認済み。）

主な業務内容は①幹線・支線実証運行の準備作業（バス停デザイン、ポスター等）
②事業・計画の検証 ③利用促進業務（ワークショップ、モビリティマネジメント等）

⇒ 承認

(4) その他

①三ツ石乗合タクシー出発式：10月1日（金） 午前9時

②幹線バス出発式：10月26日（月） 開催予定。

4 閉 会